

# 2008—2009年度 第2660地区 シェア会議報告

日時：①2009年2月12日(木)午後3時～5時  
 ②2009年3月14日(土)午後4時30分～5時30分  
 (臨時シェア会議)

場所：①ガバナー事務所会議室 ②業業年金会館

出席者：①②の出席者(多くは重複)

横山守雄ガバナー(DG)、大谷透ガバナーエレクト(GE)、新谷秀一パストガバナー(PG)

江藤光哉地区社会奉仕委員長、地区財団部門委員長(佐藤俊一財団委員長、福家宏財団副委員長、津和章雅財団情報・増進委員長、辻川功一財団人道的補助金委員長、野村正勝研究グループ交換委員長)

戸田和孝次年度地区国際奉仕・WCS委員長、片山勉次年度地区社会奉仕委員長、次年度地区財団部門委員長(大竹洋一郎財団情報・増進委員長、山口勝之財団人道的補助金委員長、山下勝弘財団奨学金・学友委員長、吉川邦英研究グループ交換委員長)  
 ◎次年度委員長の皆様にはオブザーバーとしてご出席頂きました。

地区ロータリー財団委員会

副委員長 **福家 宏**

(八尾中央RC)

**シェア・システム Share System** ロータリー財団に寄付をしますと、その金額に応じて3年後に50%がDDF(地区財団活動資金)、50%がWF(国際財団活動資金)に配分され、地区/クラブはこれらの資金を様々なロータリー活動に利用することが出来ます。さらにDDFには恒久基金の利息の50%が加算されます。このようなシステムをシェア・システムと呼びます。

**シェア会議** 2010年-2011年度に配分されるDDFは2007年-2008年度の年次寄付の50%+同年度の恒久基金の運用利益の50%です。2010年-2011年度に配分されるDDFの金額はロータリー財団管理委員会から2009年1月には通知されますので、地区財団委員会はこの金額をもとに、2010年-2011年度のDDFをどの活動にどれだけ配分し、あるいは寄贈するかを決定するための会議を主催します。この会議にはガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニーにご出席頂き、ご指導を頂くと共に次年度、次々年度の方針や展望についてお話を頂きます。そのご指導やお話しに基づき、将来をよく見定めてDDFの配分につき協議し、決定するのがシェア会議です。

## 協議に先立って

司会：佐藤DRFC：財団関連のトピックス(ゲイツ財団からポリオ撲滅のための追加補助金2億5500万ドルの件など)

横山DG：財団のプログラムはクラブの活性化につながるべきもの。DDFの配分もそこを考慮するべき。未来の夢計画に基づき2013-2014年度から全く新しい補助金制度が始まるが、それまでの試行期間中に地区が希望し、ロータリー財団が決定する100のパイロット地区の一つになれば試験的に新しい制度の下での補助金利用が可能だが、

WCS活動の極めて活発な当地区はパイロット地区には相応しくない。これは当地区財団委員会の決定事項であり共通認識でもある。などのお話をされました。

大谷GE：次年度RIテーマ「ロータリーの未来はあなたの手のの中に」を解説。さらに地区としてのサブテーマ「ロータリーを身につけよう」を掲げて、ロータリアンとして奉仕の心、寛容の心、友情を大切に作る心、命をいつくしむ心を身につけて、ロータリーの公共イメージを高め、魅力あるものにする。これらのことを具体的に解説され、マジアベ財団管理委員長の語られた「ロータリー財団の役割」「未来の夢計画」について詳しく述べられました。さらに次年度年次寄付目標額についても言及されました。これらのことは無論来る3月28日のPETSや地区チーム研修セミナーの場で多くのロータリアンに語られることになるでしょう。

**次々年度のDDF配分** 2007-2008年度の年次寄付の50%は289,044ドル、恒久基金の利息の50%は18,596ドル、合わせて307,640ドルの見込みでした。しかし、未曾有の金融危機の影響を受けて、2009-2010年度以降の恒久基金の利息の50%のリターンは見込めなくなりました。従って2010-2011年度のDDF利用可能金額は約57万ドルになります。

**ポリオ撲滅** ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団はロータリーの20年間にわたる卓越したポリオ撲滅活動を高く評価し、昨年度1億ドル、今年度2億5500万ドルの巨額の寄付金をポリオ撲滅のためにロータリーに託しました。これに対して、ロータリーは新たに2012年6月30日までにこれまでの1億ドルの寄付の上にさらに

1億ドルの寄付を上乗せすることを決定し、表明しています。これを受けて当地区のロータリアンはどのように応えて行くのかがシェア会議においても協議されました。

**DDF配分協議** 未来の夢計画に基づく新補助金制度のもとでは2013年以後剰余のDDFは次の年のDDF(名称は変更されるがそれに似た性格の活動資金)には従来と同じかたちでは繰り越されなくなるため、DDFは有効利用して繰越金を漸減させる方針を取ろうというコンセンサスを持って協議が進められました。横山DG、大谷GEのお話を十分理解した上、財団部門各委員長からご発言頂き、協議が進められた結果2010-2011年度DDFの配分が2/12シェア会議にて一旦決定しました。その後ポリオ撲滅の寄付金としてDDFを更に有効利用するという新しい方策が横山DGから示され、3/14臨時シェア会議において次ページの通りのバランスシートが承認されました。

**臨時シェア会議** 当地区ではロータリアンには次年度も1人年間2000円以上の寄付を呼びかけて参りま

したが、ゲイツ財団の巨額の追加寄付に応えるためRIはこれとは別に更に3年間で1億ドルの上乗せの寄付(4年間に2億ドル)をロータリアンに要請しています。従って皆様をお願いする寄付金も計算上次年度からは倍額になります。そこで当地区としては直ちに倍額の寄付を皆様をお願いするのではなく、DDFを最大限活用することとし、ポリオ撲滅のためDDF年間86000ドル×3年間の拠出を決定致しました。

**ポリオ・フリーの世界** ポリオはまだ撲滅されていません。20年にわたるロータリーの活動によりポリオは99%撲滅されました。あと1歩なのです。しかしこの1歩はこれまでの99%の撲滅以上に困難です。ゲイツ財団の寄付金総額は3億5500万ドルです。ロータリアンがこれに2億ドルを上乗せして、5億5500万ドルを投入することは世界的なポリオ撲滅活動に、大きな弾みをつけて発展させることになります。ポリオ・フリーの地球を実現するには、今こそロータリアンの力が求められているのです。資金としてDDFは利用しますが、皆様のポリオ撲滅のための寄付金は年間2000円に留まることなく、1.5~2倍のご協力をお願い致します。

**D-2660 DDFバランスシート**

2009年3月14日臨時シェア会議議決

ロータリー財団委員会  
 2009.3.14  
 単位: US\$

	2008-09年度予算		2009-10年度予算		2010-11年度予算	
前年度DDF繰越額	379,794.72		434,617.47		283,622.80	
TRF新規DDF配分類	294,918.61		264,505.33		289,044.31	
DDF利用可能総額	674,713.33		699,122.80		572,667.11	
<b>配分・分野</b>	<b>2008-9年度予算</b>	<b>使用見込み</b>	<b>2009-10年度予算</b>	<b>使用見込み</b>	<b>2010-11年度予算</b>	<b>使用見込み</b>
<b>&lt;人道的分野&gt;</b>						
地区補助金	50,000	37,495.86	50,000	40,000	50,000	40,000
WCS MG	65,000	47,600	65,000	60,000	65,000	60,000
<b>&lt;教育的分野&gt;</b>	奨学金@23,000		奨学金@24,000		奨学生@25,000	
国際親善奨学生	9名 207,000	5名 115,000	5名 120,000	8名 192,000	8名 200,000	8名 200,000
GSEプログラム強化	0	0	2,500	2,500	2,500	2,500
<b>&lt;寄贈分野&gt;</b>						
Rセンター平和フェロシッパ	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
ロータリー平和および紛争解決研究プログラム	5,000	5,000	0	0		
低所得国のための奨学金基金プール	0	0	10,000	10,000	0	0
ポリオ・プラス・パートナー	0	0	0	0	0	0
ポリオ・プラス	10,000	10,000	10,000	86,000	86,000	86,000
<b>分野別・配分総額</b>	<b>362,000</b>	<b>240,095.86</b>	<b>282,500</b>	<b>415,500</b>	<b>428,500</b>	<b>413,500</b>
<b>次年度への繰越予定額</b>	<b>312,713.33</b>	<b>434,617.47</b>	<b>416,622.80</b>	<b>283,622.80</b>	<b>144,167.11</b>	<b>159,167.11</b>